

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第3回茨木市産業振興アクションプラン推進委員会
開催日時	令和8年2月19日（木） （午前 午後 ） 15時 30分 開会 （午前 午後 ） 17時 30分 閉会
開催場所	茨木市役所南館3階防災会議室
議 長	野口 義文 氏（立命館大学）
出 席 者	野口 義文 氏（立命館大学）、伊津田 崇 氏（中小企業診断士）、 辻田 素子 氏（龍谷大学）、岡田 賢晃 氏（近畿経済産業局）、 大岩 賢悟 氏（市内事業者）、大坪 さやか 氏（市内事業者）、 奥山 結衣 氏（市民委員）、五寶 美奈子 氏（市民委員）、 仙水 裕之 氏（北おおさか信用金庫）、辰巳 雪絵 氏（市内事業者）、 中野 拓二 氏（茨木商工会議所）、藤井 茂男 氏（市内事業者）（12人）
欠 席 者	なし
事務局職員	小西産業環境部長、河原産業環境部次長兼商工労政課長、 小倉商工労政課専門監、長野商工労政課長代理兼商工振興係長、 西岡商工労政課企業支援係長、原田商工労政課職員（6人）
議題(案件)	(1) 令和7年度事業の報告等について (2) 第4期アクションプランの進捗について (3) 答申について
配付資料	・議事次第 ・推進委員会名簿 ・令和7年度事業について（資料1） ・第4期プラン取組評価シート（資料2） ・答申書（案）

議事の経過

1 開会

事務局：開会のあいさつ

委員出席状況（12人中12人出席により会議成立）

2 趣旨説明

事務局：（産業振興アクションプラン推進委員会の趣旨・概要を説明）

3 会議の公開について

事務局：市の指針に則り、会議は原則公開とする。

会議録は要約したものを公開する。発言者は個人名を記載する。

なお、今回の傍聴希望者はなし。

4 令和7年度の事業について

事務局：（資料1をもとに説明）

<質疑・意見等>

委員長：オープンカンパニーの件について、今年度から複数日実施になりましたが、2日間の開催に至った理由、また、その効果等いかがでしょうか。

事務局：できるだけ多くの方にご参加いただきたいという思いから2日間の実施に至りました。金曜日、土曜日（平日と休日）ということでそれぞれ違う客層の方にアプローチすることができたと思います。平日はご年配の方が多め、土曜日が主にお子さん連れの方にご参加いただけたという印象です。また参加する企業側からも工場が実際に稼働している平日の開催を望む声もあり2日間に分けた実施となりました。

委員長：辰巳工業さんは2日間ともご参加されていますが、受け入れる側として大変なことはありましたでしょうか。

辰巳委員：通常の業務との兼ね合いが難しいところでもあります。

大坪委員：観光パンフレットについて、お土産・グルメの店として掲載されている6店舗についてどのようなお店が選ばれたのでしょうか。

事務局：茨木で生まれたというお店の中で、あくまで一例として掲載させていただきました。

大坪委員：創業者交流会について、定員が埋まっていないということで、「交流会」というテーマでは参加しづらいのかなと感じました。なにかセミナー等もあるのでしょうか。

事務局：講師から、創業や操業のヒントになるような短い講演をいただいたあと、ワールドカフェ形式での交流を予定しております。

大坪委員：「交流会」という名前より「勉強会」の方が参加しやすいかもしれません。交流したいけど、交流会がメインだとなかなか踏み出しにくいということもあると思います。

奥山委員：オープンカンパニーについて、今回実際に参加させていただきましたが、参加企業が多いので、どこに申し込もうか選ぶのが難しいところでした。広報にも特集されていてすごく分かりやすかったです。子供だけでなく、大人も楽しめる内容になっ

ていて、パンフレット等で見ただけでなく、実際に体験してみることの大切さを感じました。

また、ミステリーツアーについては、どこかに開催案内が掲載されていたのでしょうか。

事務局：今回は亀岡市とともに事業の後援というかたちで、市SNSで発信させていただきました。

辰巳委員：オープンカンパニーに参加して、企業間の横のつながりができたとすごく実感しています。今まで関わりのなかったような業種の企業の方との関りができました。

委員長：企業間の横のつながりというのはどのようなきっかけで生まれたのでしょうか。

事務局：オープンカンパニーを実施する際に勉強会や見学会を開催し、コミュニティづくりにも注力しています。

仙水委員：北おおさか信用金庫は「中高生のための職業体験イベント」に参加させていただきましたが、今後の開催時期や実施回数等、検討されていますか。

事務局：開催時期については、市の校長会からの提案もありで今年度は11月の開催となりました。学校単位での参加も見込んでいましたが、実現はしませんでした。日程の設定については、高校生が参加しやすい日程を改めて設定したほうがいいのかを検討しているところです。実施回数については、委託先でもある茨木商工会議所さんとも話し合いながら検討を進めていきたいと考えております。

岡田委員：オープンカンパニーについて、年度末にかけて事例集を作成させていただきます。他地域のオープンファクトリーとの連携や行政主導から民間主導への転換についても検討を進めていただければと思います。ふるさと納税の返礼品について、知財フォーラムも開催し、その中で商品開発の事例発表等もありますので、是非参加を検討していただければと思います。

また、創業後のアフターフォローについて、利用者の反応等があれば教えていただけますでしょうか。

事務局：民間主導のオープンカンパニーをという点について、現在実行委員会形式で実施しており、徐々に進めさせていただいているところです。また、創業後のアフターフォローについて、市に相談体制があるということを知っていただくという機会としては有効な機会ではないかと考えております。

伊津田委員：創業アフターフォローについて、事業が動き始めると忙しさから市の経営相談に来られないということもあって、市から事業所に訪問するという手法で実施しているのですが、私が訪問した3件については、当初の事業計画通りにはいっておらず、ターゲットを見直し、メニュー構成等も見直している店舗もありました。

藤井委員：オープンカンパニーについて、事業者間の横の繋がりのお話が出ましたが、市が主導するより事業者だけで実施するようになってくると少しとがった、より面白いものになってくるのではないかと感じました。

茨木市は、飲食店の創業数は多いと思いますが、3年・5年生存率という視点で見るとなかなか厳しいのかなと感じているところで、補助金を出して終わりというよりは、伴走型で支援し続ける仕組みが望ましいのかなと思います。事業を始めて3年、5年経ってだんだんと孤立してくるのかなと感じますので、気軽に顔を出せる事業者間コミュニティのような、情報交換しながらお互いに支えあっているような仕組みがあるといいのかなと感じました。

また、ミステリーツアーについて、何か市内事業者とコラボしたりして、産業と繋がってコンテンツ化ができればより魅力的になるのではないかと感じました。

事務局：事業者の孤立について、市からの関わりと事業者間での関わりと、それぞれの良さがあると思いますので、今後より良い形を検討していけたらと考えております。

委員長：ミステリーツアーについては、何名の申込があったのでしょうか。

事務局：20名定員のところ13名の申込があったと聞いております。

大岩委員：オープンカンパニーの紹介動画について、見ていただく方の視聴環境も踏まえて、ショート ver. の縦型動画も検討されてみてはと思います。

ふるさと納税返礼品の開発補助の件について、ふるさと納税返礼品を開発している事業者間同士でも同じ方向性を持ってまちの魅力を伝えていくということが必要かなと感じました。

中野委員：創業者のアフターフォローについても、一回の訪問で解決するようなものではないのかなと思うので、何回か継続していくことが大事なのかなと感じます。

また、市外からの訪問者に市内の飲食店を利用してもらうためにも「とりすき」の普及活動に励んでいるところです。

事務局：創業後のアフターフォローは一度きりというわけではなく、市役所では経営サポートデスクというかたちで門戸をいつでも開いておりますので、ご予約を取っていただければ継続して支援させていただける体制を整えております。

辻田委員：創業支援について市役所だけではなく商工会議所・金融機関等を巻き込んで実施していく体制がよいのではないかと感じます。

企業PR動画について、成果物の内容をどのレベルまで求めていくのかを今後議論していく必要があると感じました。

また、賃上げの補助金について、ただ賃金を上げた企業に補助金を出しますといった建付けでいいのでしょうか。生産性を上げる等、企業努力の部分への支援の方が今後にもつながるのではないかと考えます。

事務局：創業後のアフターフォローの件については、市だけで完結できるものではないという認識ですので、相談者の方の状況に応じて、市からネットワークを活用して必要な機関につなぐことも実施していきます。

企業PR動画のクオリティについて、今年度は映像学部の学生が携わったこともあり、クオリティの高いものが出来上がりました。この事業では、まず企業と学生の交流をメインで考えており、プラスαで茨木の企業の周知につながっていけばいいところです。

賃上げの補助金について、今回申請のハードルはそこまで高くないものになっています。こちらに関しては、賃上げのきっかけになればというところですが、もう一つ中小企業の経営基盤強化に向けた取り組みとして、生産性の向上につながるような計画書の作成等の伴走支援もあわせて実施いたします。

5 第4期プランの取組評価について

事務局：（資料2をもとに説明）

<質疑・意見等>

委員長：現時点で評価が全てAですので、達成率に応じた評価段階について検討してみてもいかがでしょうか。

観光振興について、課題について枠が埋まっていませんので、推進委員会で出た意見等を踏まえ課題を追加してはいかがでしょうか。

事務局：評価段階については関係部署とも調整のうえ、検討いたします。

大岩委員：観光事業について、現状と課題に「ダムパークいばきた来訪者の市内への周遊性が乏しい」とありますので、解決のポイントに「グルメ」の視点を加えていただきたいと思います。

委員長：グルメは観光客を誘引する一つの大きなキーワードであると思いますので、ご検討いただきたいと思います。

事務局：ご意見を踏まえ加えさせていただきたいと思います。

6 茨木市産業振興アクションプラン推進委員会の答申について

事務局：（答申（案）をもとに説明）

<質疑・意見等>

茨木市産業振興アクションプラン推進委員会に係る答申については、出席委員によって承認されました。

7 閉会

事務局：それでは、以上をもちまして委員会を閉会させていただきます。

ありがとうございました。